

業績説明会資料

新中期経営計画(2008-2010)について

2008年5月29日



- 前中期経営計画(07中計)のレビュー
- 新中期経営計画(2008-2010)について

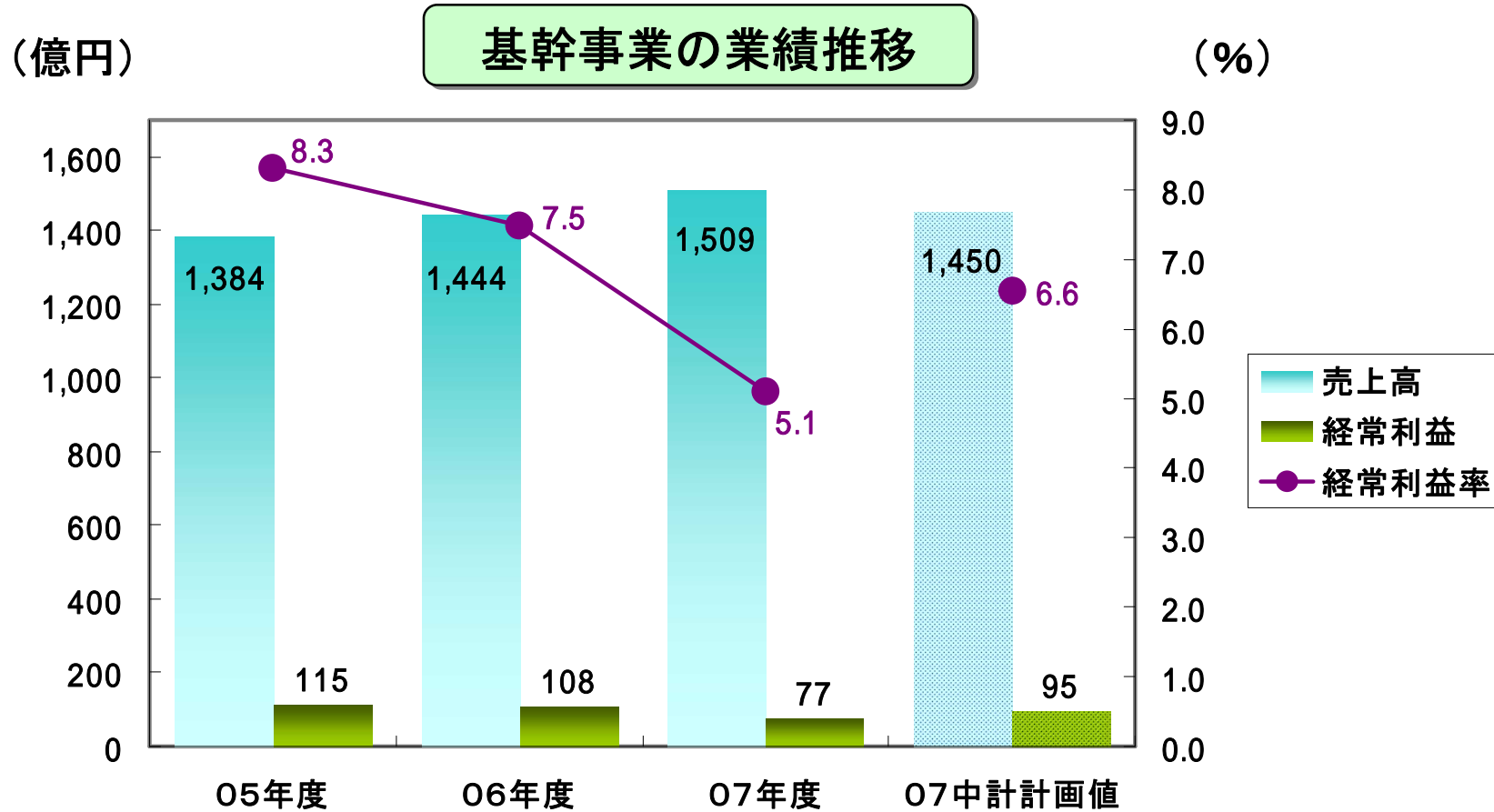
前中期経営計画の結果

(単位:億円、%)

	05年度実績 (06/3期)	06年度実績 (07/3期)	07年度実績 (08/3期)	07年中計 最終年計画値
売上高	1,432	1,502	1,590	1,550
営業利益	111	116	100	—
経常利益	117	120	102	115
売上高経常利益率	8.2	8.0	6.4	7.4
ROA	3.4	3.7	3.5	4.0
ROE	7.2	7.4	6.9	—
有利子負債	287	280	290	280

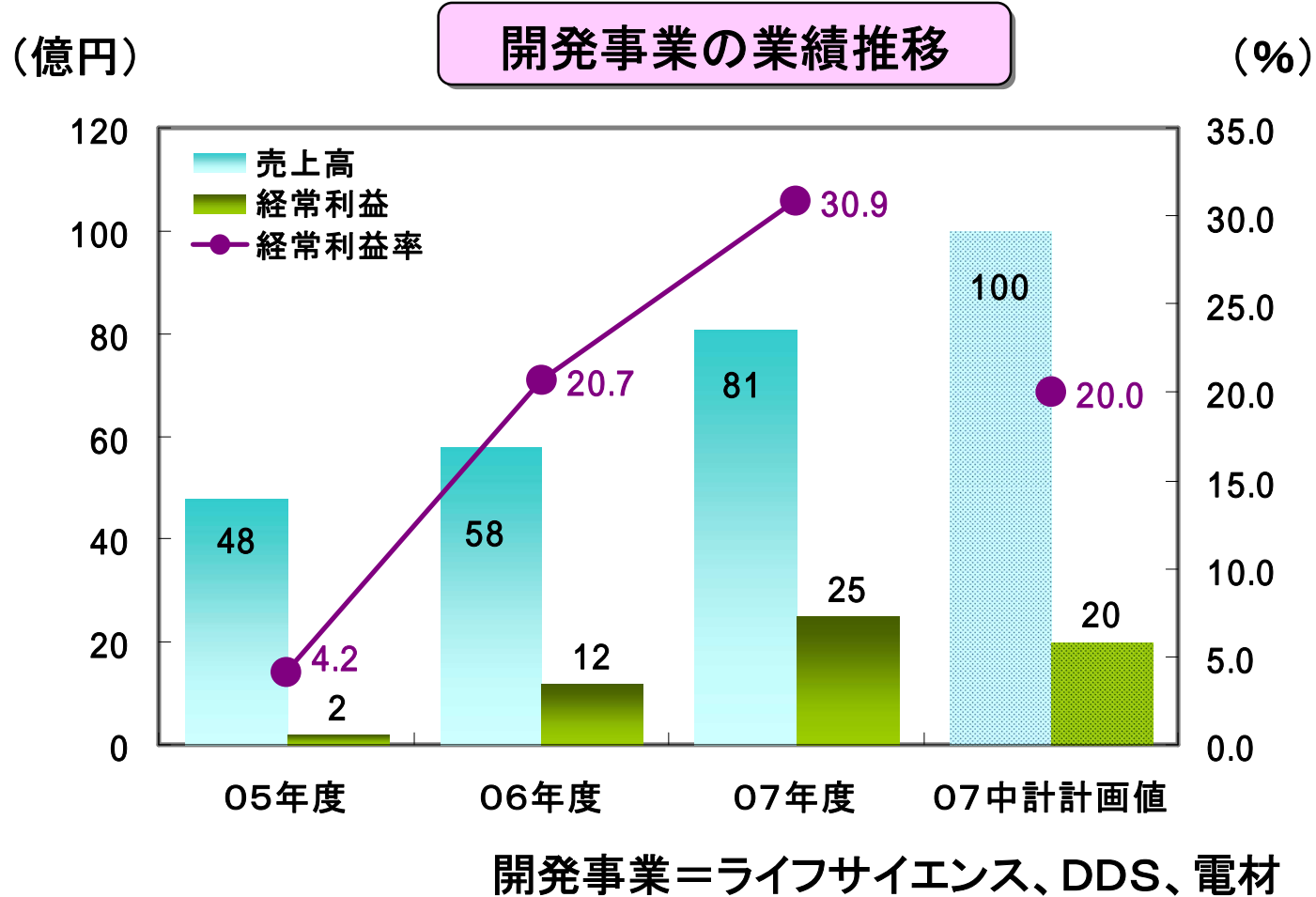
- 05年度、06年度は、計画値に対し売上高、経常利益とも順調に推移。
07年度は、売上高は達成したものの、原燃料の高騰・機能フィルム事業の減収減益により、経常利益は対計画値未達。

前中期経営計画で残された課題



課題 原燃料価格の構造的変化への対応

前中期経営計画で残された課題



課題 ユーザー数の拡大、新規商品開発力の強化

2010中期経営計画 計画値

	07年度実績	10年度計画値
売上高	1,590億円	1,820億円
経常利益	102億円	155億円
売上高経常利益率	6.4%	8.5%
ROA	3.5%	4.5%
ROE	6.9%	8.7%

2010中期経営計画の基本戦略

基幹事業の収益力強化

- ・高付加価値品へのシフトを加速
- ・成長分野での既存品の拡販
- ・原燃料の高騰には価格是正とコストダウン

新規・開発事業の成長促進

- ・営業力、技術サービス力の強化
- ・研究開発力の強化
- ・先行的な設備投資

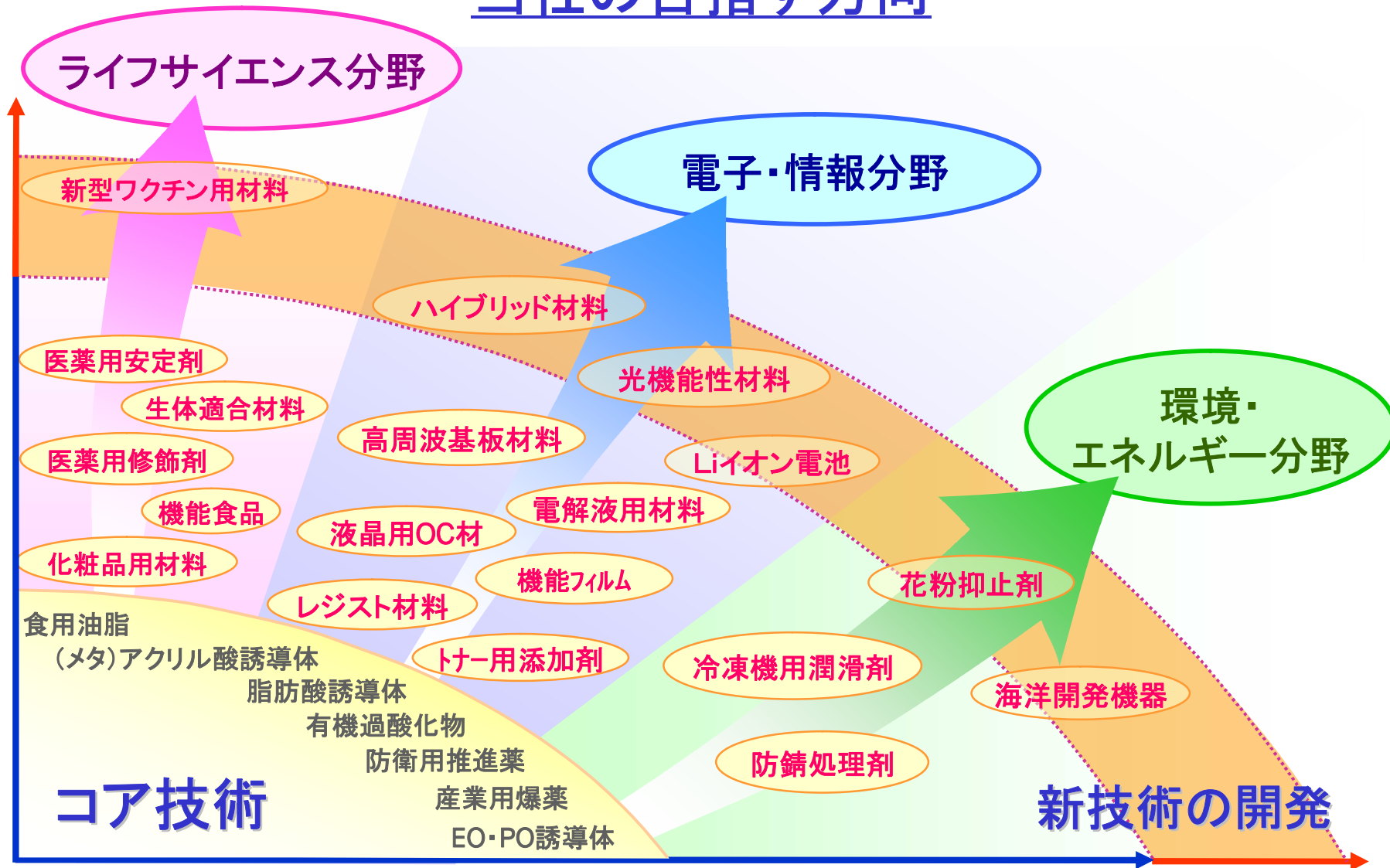
海外売上高の拡大

- ・海外市場の開発
- ・海外要員の育成

次世代新事業の創出

- ・研究開発投資の拡大
- ・研究員の拡充

当社の目指す方向



基幹事業の主要施策

～選択と集中～

1. 高付加価値品へのシフトを加速

- 高機能材料の開発と拡販への資源投資

2. 成長分野での拡販

- ライフサイエンス、電子・情報、環境・エネルギーの各成長分野で既存品を拡販

3. 価格是正とコストダウン

- 加工油脂は価格是正により収益を改善
- 脂肪酸は最適生産体制を再構築し、コストダウンを徹底

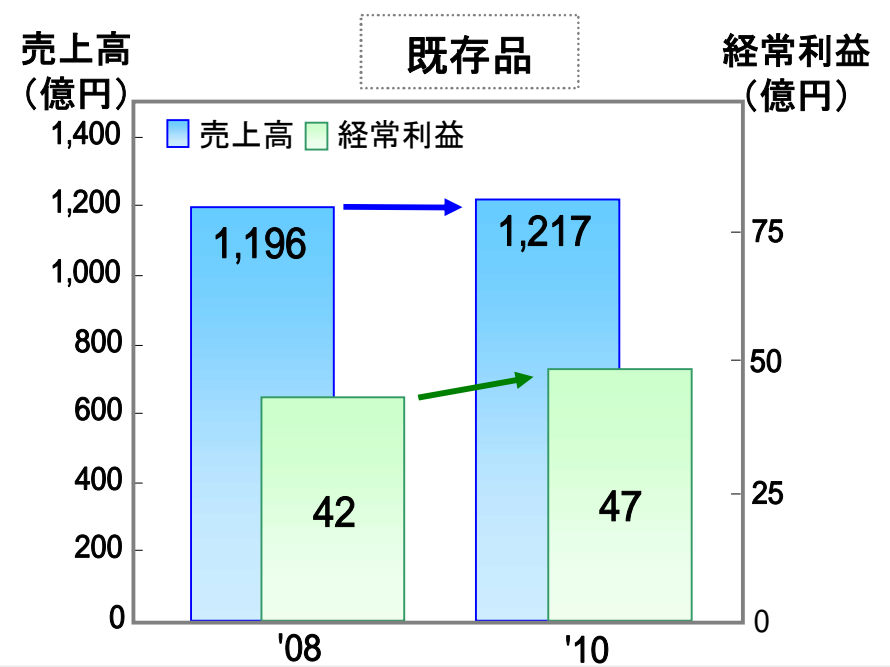
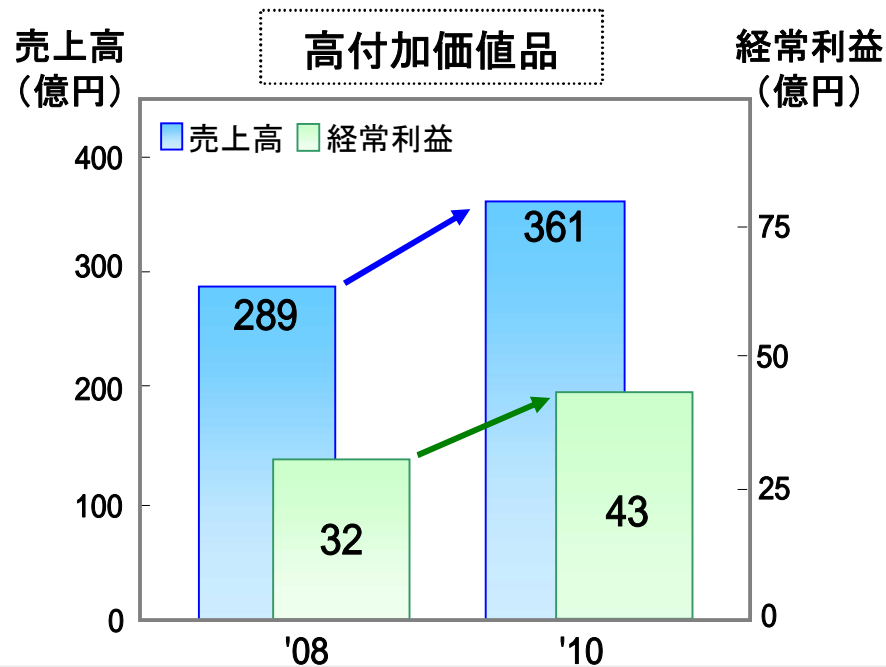
4. 海外売上高の拡大

- 有機過酸化物はアジア3生産拠点体制を基に、海外展開を推進
- 防錆剤はBRICsを含むグローバルな拡販体制を構築

基幹事業の計画内訳

(単位: 億円)

	08年度予想			10年度計画値		
	高付加価値品	既存品	合計	高付加価値品	既存品	合計
売上高	289	1,196	1,485	361	1,217	1,578
経常利益	32	42	74	43	47	90
売上高 経常利益率	11%	3.5%	5.0%	12%	3.8%	5.7%



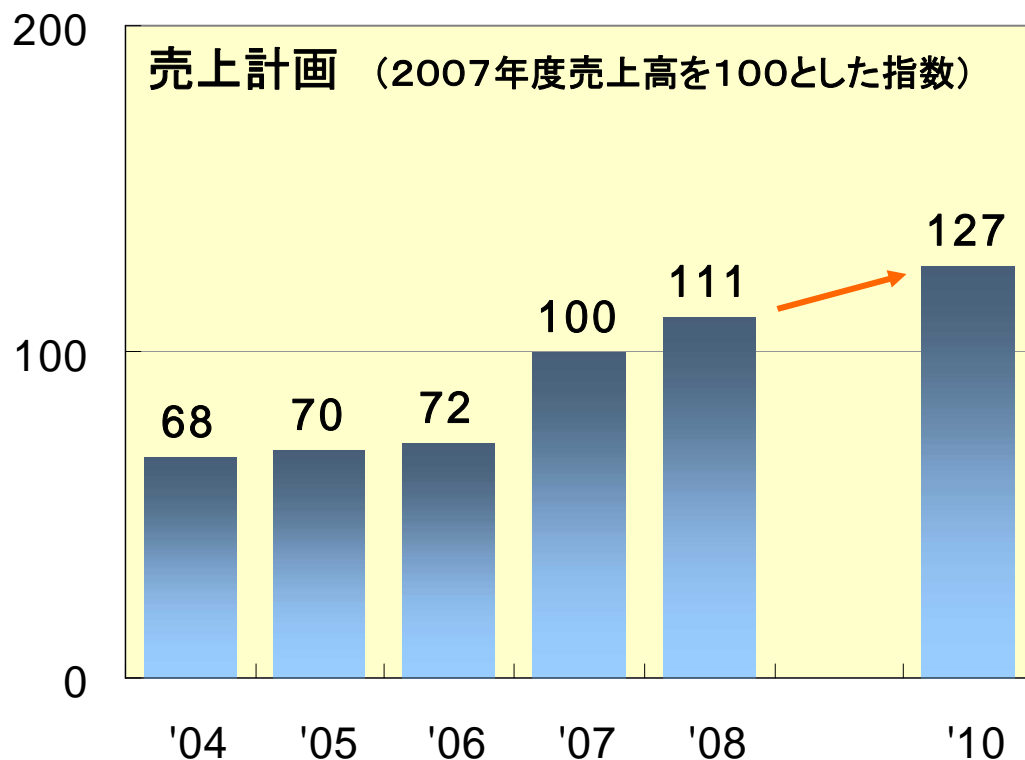
新規・開発事業の主要施策

～市場開発力と収益力強化～

1. ライフサイエンス事業
2. DDS事業
3. 機能フィルム事業
4. 電材事業

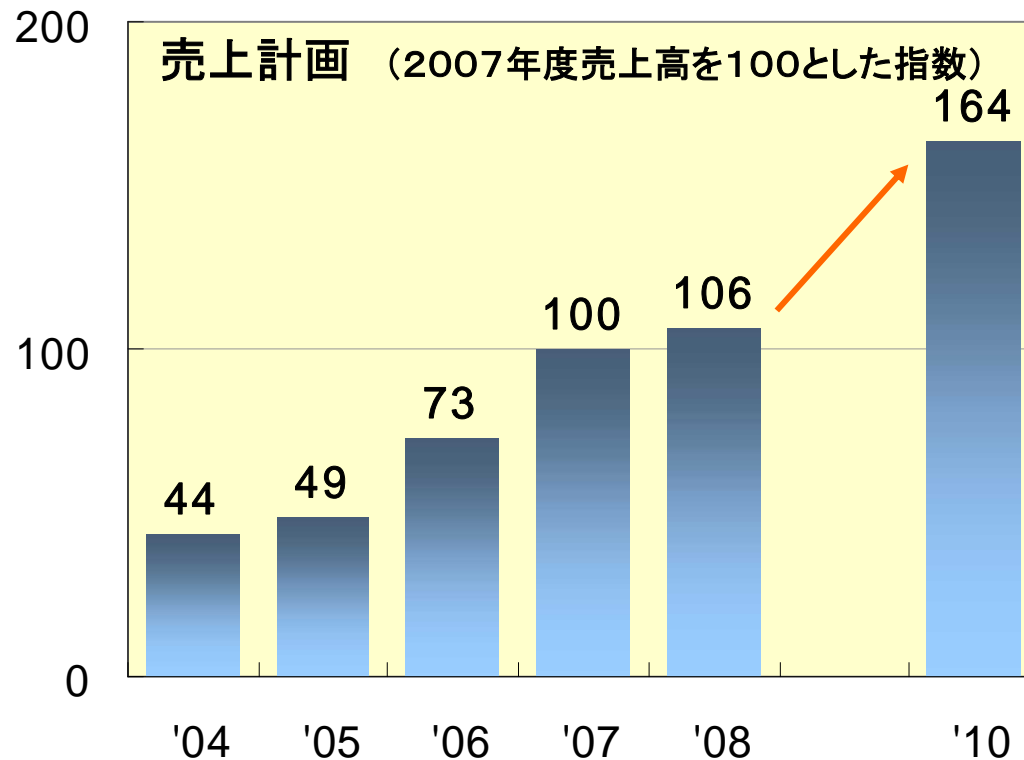
ライフサイエンス事業： 主要施策

- ・アイケア市場トレンドへの対応（ハードからソフトへ）
- ・化粧品原料の海外市場への拡販
- ・新規開発品の上市



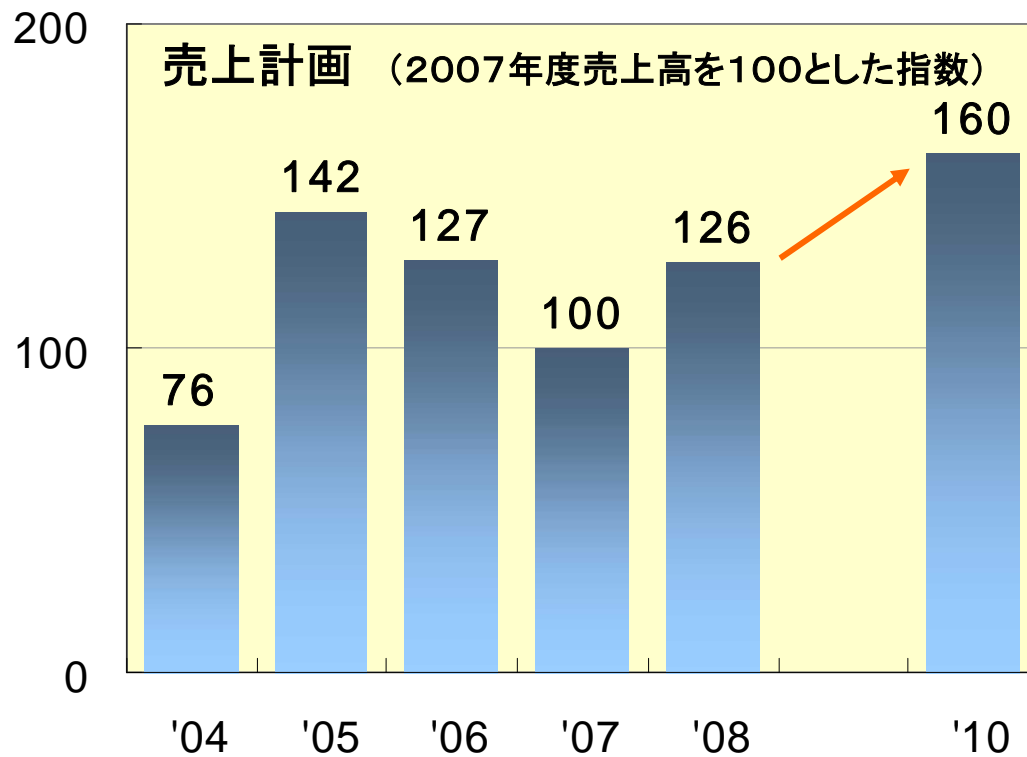
DDS事業： 主要施策

- ・海外営業体制、技術サービス体制への資源投資
- ・新規PEG開発力の強化
- ・安定供給体制の構築



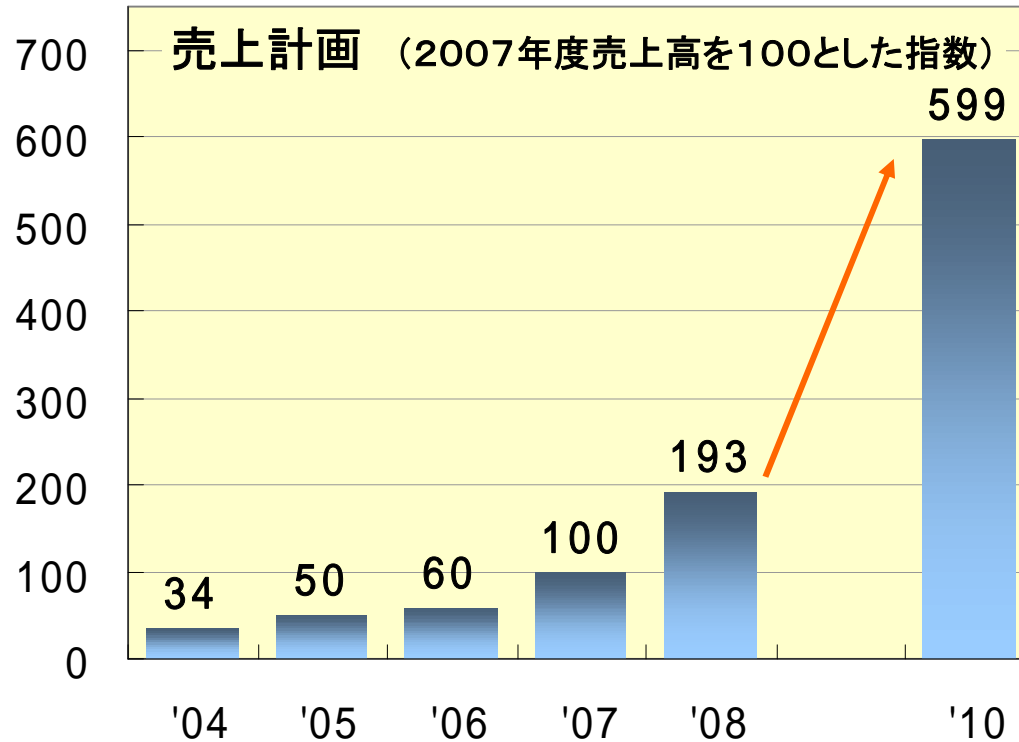
機能フィルム事業： 主要施策

- ・PDP分野：新機能製品の上市・新規ユーザー獲得による売上拡大
- ・LCD分野、IFD分野の市場開拓
- ・VA、VEによるコスト競争力の強化



電材事業：主要施策

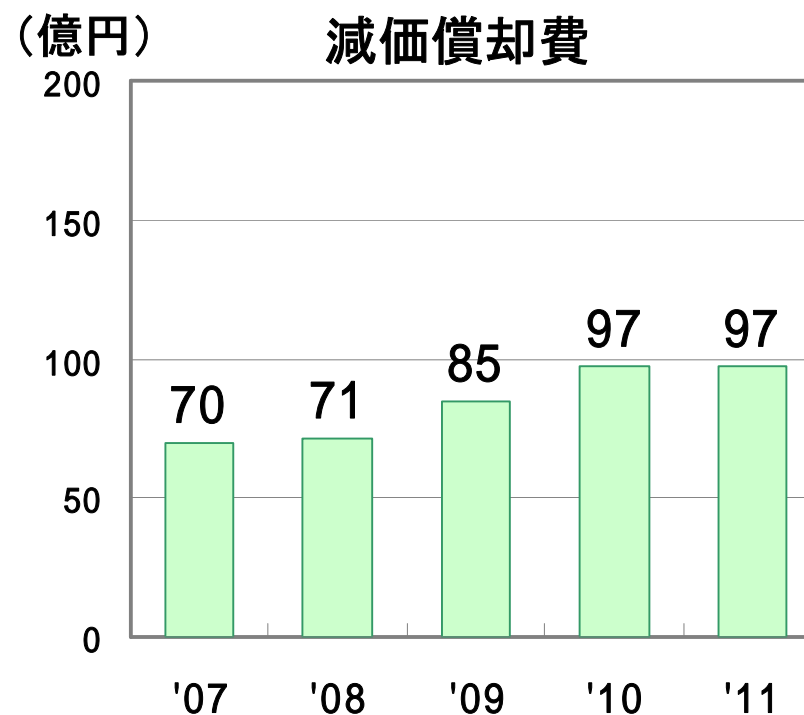
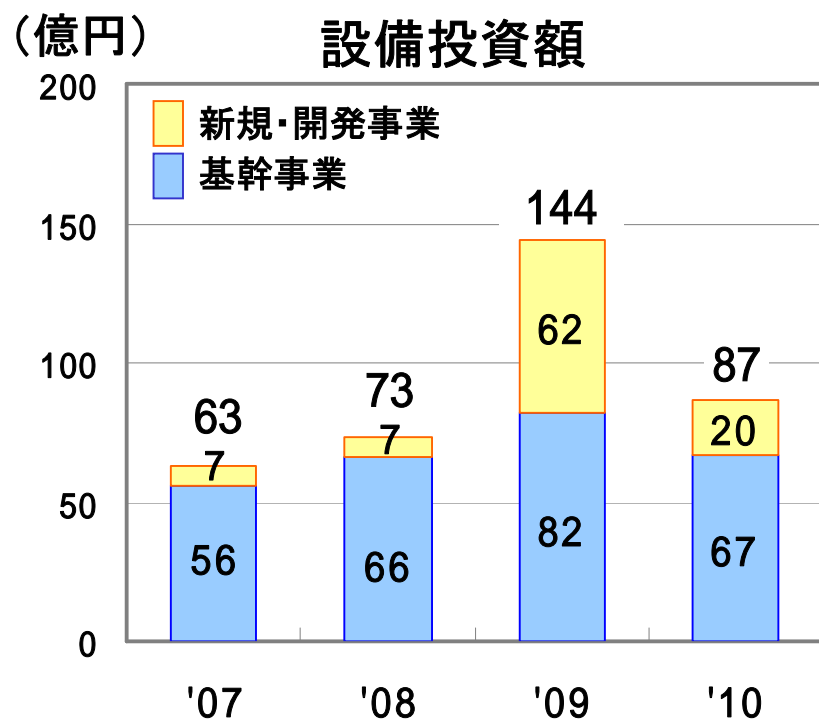
- 高周波基板材料(RFIDタグ他)：市場開拓・需要に対応した生産体制構築
- 液晶用OC材：技術サービス力の強化
- IJバインダー：共同開発先との連携を強化し、新規顧客を開拓



2010中計期間における設備投資

	2007中計実績	2010中計計画値
設備投資額	231億円	約300億円
減価償却費	182億円	約250億円

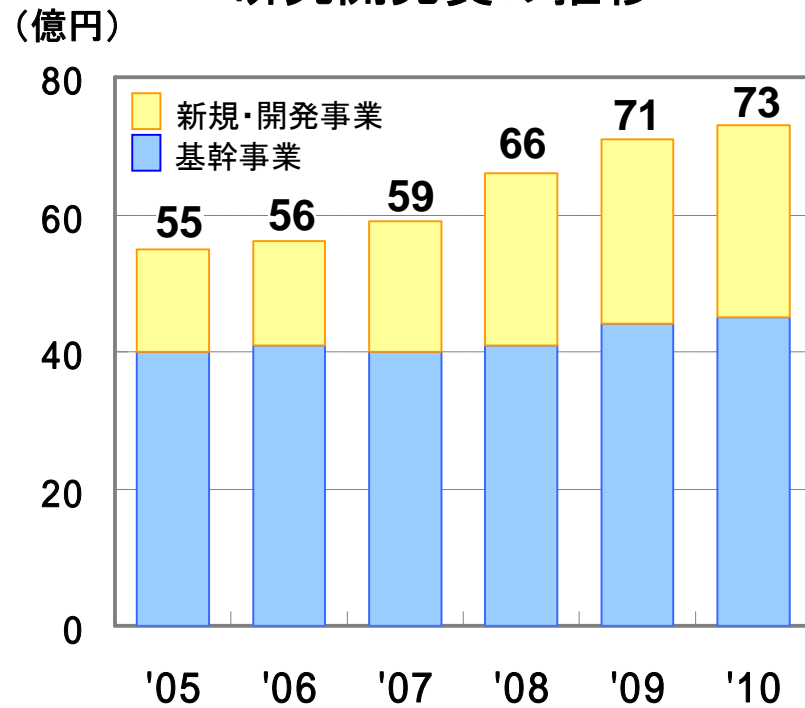
(3年間累計)



2010中計期間における研究投資

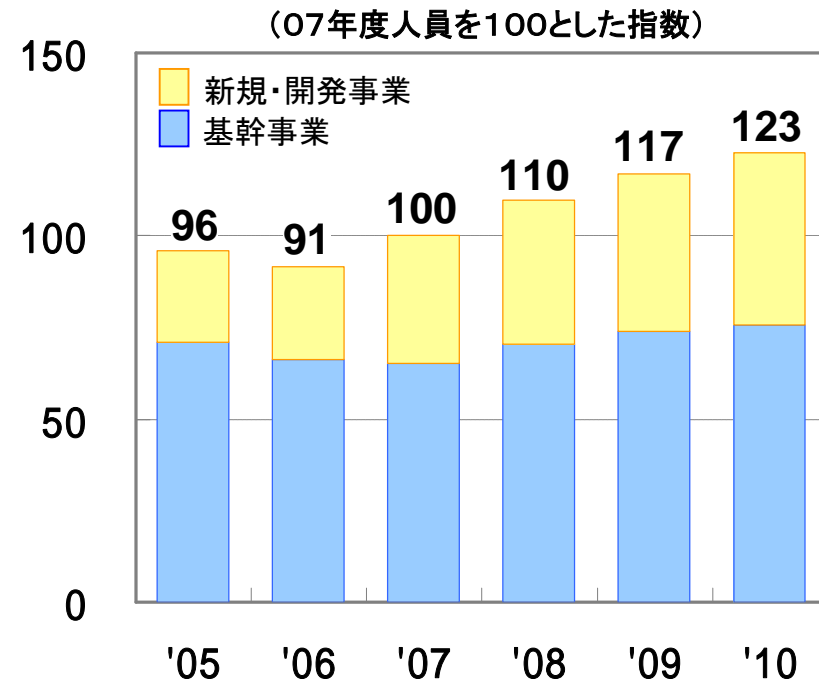
	2007中計実績	2010中計計画値	
研究開発費	170億円	約210億円	(3年間累計)

研究開発費の推移



'07 '10伸長率
 新規・開発事業 : 147%
 基幹事業 : 113%

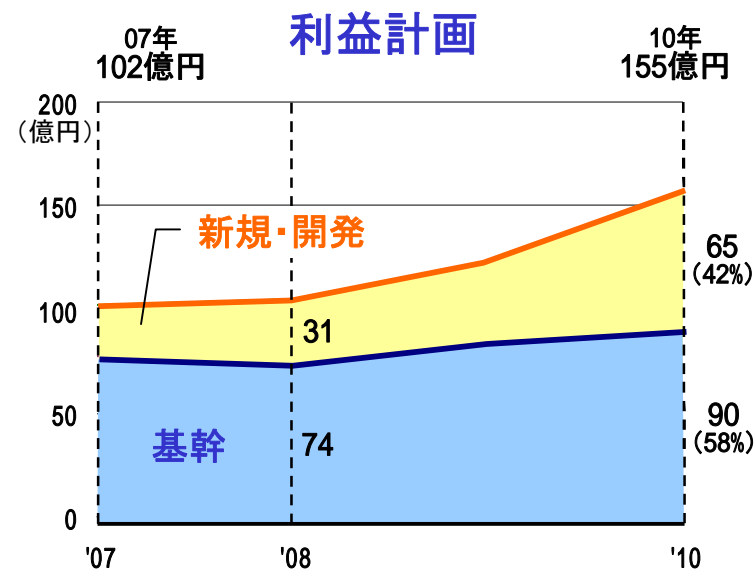
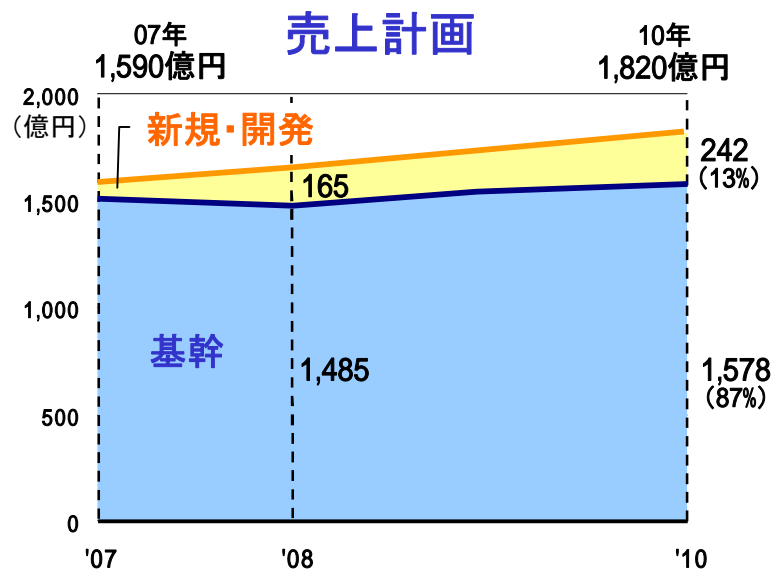
研究開発人員の推移



'07 '10伸長率
 新規・開発事業 : 135%
 基幹事業 : 117%

2010中計: 基幹事業、新規・開発事業

新規・開発事業 : 2010年には経常利益に占める割合を40%以上
 基幹事業 : 高付加価値品へのシフトにより、収益力向上



'08 伸長率 '10
 新規・開発事業 : 147%
 基幹事業 : 106%

'08 伸長率 '10
 新規・開発事業 : 210%
 基幹事業 : 122%

新規・開発事業(2008年以降) = ライフサイエンス、DDS、機能フィルム、電材

2010中期経営計画 計画値

	2010中計計画値	2013年度目標
売上高	1,820億円	2,000億円
経常利益	155億円	200億円
売上高経常利益率	8.5%	10%
ROA	4.5%	
ROE	8.7%	

コーポレートガバナンス

1. 内部統制体制の強化

- 当社及びグループ会社の業務の適正性を一層強固に確保するため内部統制室を設置(2007/5/1)。
- リスク管理徹底のため、倫理委員会、情報セキュリティ委員会、債権管理委員会、安全保障輸出管理委員会等を通じ、企業活動に関する様々なリスク管理を強化。
- コンプライアンスの徹底。

2. 環境・安全を重視

- RC活動を通じ、環境安全、製品安全、設備安全、物流安全、労働安全衛生の5つの安全の徹底。

トピックス

2007年

2008年

2009年

2010年

2011年以降

◆スギ花粉発生抑制剤



使用量の最適化

申請用の薬効、薬害試験

生物毒性試験

農薬登録申請→登録
(審査期間2~3年)

薬剤販売網の整備

全国スギ林
450万haで
の利用促進

◆新型ワクチン



ウイルス感染細胞の情報を
リポソーム表面に結合したもの
→免疫細胞に情報伝達

共同研究・評価継続

事業性判断、ビジネスプラン作成

- 本資料はあくまで弊社をより深く理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。
- 本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて弊社の判断により作成されておりますが、実際の業績が様々な要素により計画とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- 本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。

お問い合わせ先 : 日油株式会社 経理部 (IR室 高林、根岸)
住 所 : 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号
電 話 : 03-5424-6651
F A X : 03-5424-6803
ホームページ : <http://www.nof.co.jp>

END